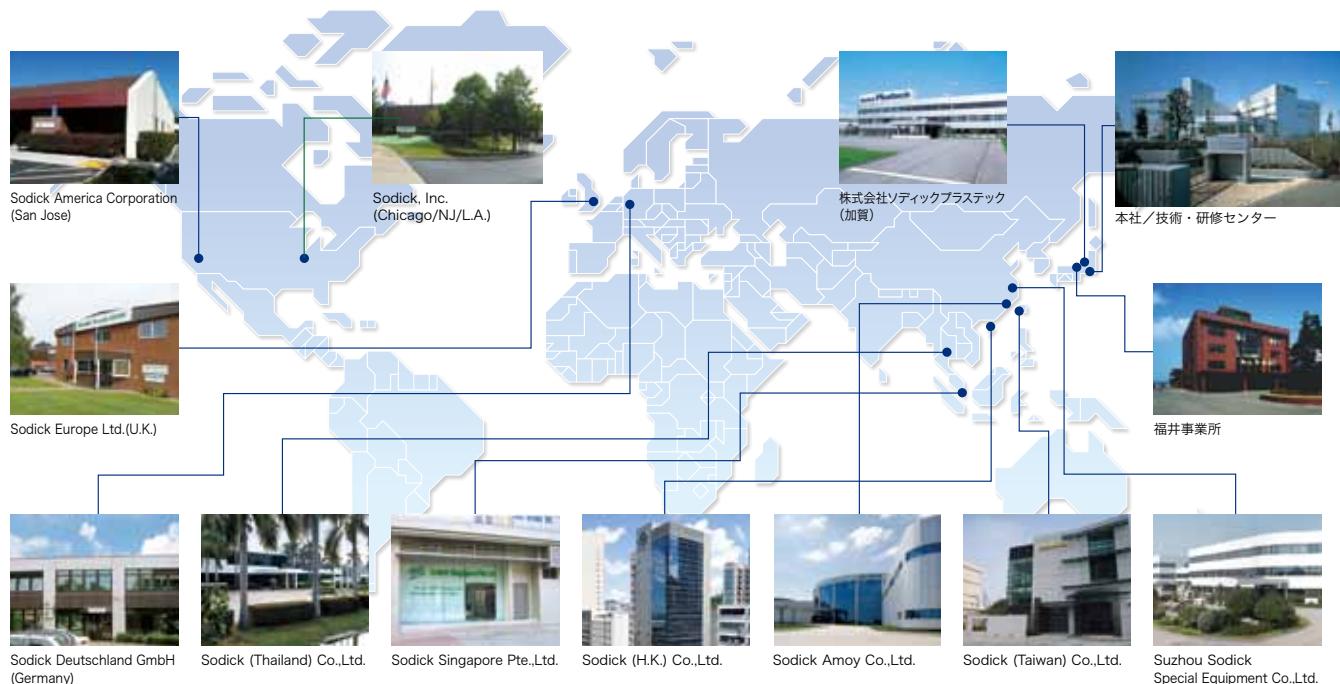


世界の主要拠点 (平成23年9月30日現在)

国内

本 社	横浜					
営業拠点	仙台 松本	太田 静岡	大宮 名古屋	東関東 大阪	横浜 岡山	福井 福岡
事業所	福井		加賀			



**Sodick**  
株式会社 ソディック

〒224-8522  
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
TEL: 045-942-3111  
FAX: 045-943-5835  
(証券コード: 6143)



●この冊子はFSC森林認証用紙と植物性インキを使用しています。

ホームページのご案内

<http://www.sodick.co.jp/>

株主の皆様からの声をお待ちしております。

当社では、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。  
お気軽に下記のメールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス [ir@sodick.co.jp](mailto:ir@sodick.co.jp)



モバイルサイトのご案内

<http://www.sodick.co.jp/mobile>

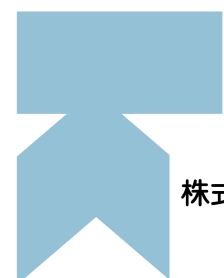
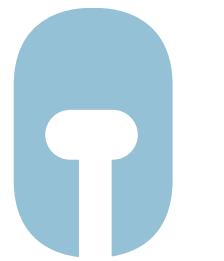
展示会情報・サポート情報・ソディック製品にまつわる最新情報等を  
随時更新しています。



未来を創る

第36期第2四半期  
事業報告書 平成23年4月1日～平成23年9月30日

**Sodick**  
Business Report



株式会社 ソディック



## Sodick Corporate Highlights

### 東日本大震災について

東日本大震災において、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたしております。ソディックグループは、お客様の生産設備の復旧をご支援させていただくべく、引き続き復興支援活動に全力を挙げて取り組んでまいります。

### 展示会 EMO2011に出展

当社は、EMO2011（9月19日～9月24日、ドイツ ハノーバーにて開催）に出展しました。EMOショーは、金属加工のための世界最大級の国際見本市であり、米国のIMTS、日本のJIMTOFと並んで世界中のものづくりの関係者から熱い注目を集めるイベントです。

会場では、各国の代表的な工作機械メーカーやサプライヤーが、工作機械及び金属加工における最高水準の技術と製品を展示いたしました。当社も世界最高峰の放電加工機や超高速マシニングセンタ、環境負荷の小さいLED照明器機にいたるまで幅広く展示し、終日多数のお客様でにぎわいました。



### 新製品

### “超高速切削加工を可能とする次世代マシン” TT1-400A

近年のスマートフォンやタブレット端末器市場の急成長に伴い、微細・精密な小物部品の需要も急速に拡大しています。当社はそれらの精密な小物部品の加工をターゲットとして、リニアモータ駆動「超高速マシニングセンタ TT1-400A」を開発いたしました。TT1-400Aは、世界初となるX・Y軸駆動テーブルに軽量の自社製CFRP（カーボン繊維強化プラスチック）を採用しており、重量物である鋳物のテーブルを使用した従来機に比べて飛躍的に加工面質と加工効率が向上いたしました。



超高速  
マシニングセンタ  
TT1-400A

## 未来を創る

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本年3月に発生いたしました東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

当上半期は、新興国の経済成長に牽引される順調な経営環境のなかでスタートいたしました。欧州金融市場の動揺、米国経済の減速懸念、為替相場の混乱など日を追うにつれて先行きに不透明感が拡大してまいりました。国内の経済環境も、急激な円高の進行とその長期化が懸念されるなど、予断を許さぬ状況でした。

このような厳しく、急変する経営環境が今後も継続することは確実であり、当社グループ全体での経営戦略の策定と遂行、経営資源の選択と集中がますます重要になってきます。このような経営環境への対応として、連結子会社である株式会社ソディックプラスチック（証券コード：6401）の完全子会社化を目的とし、同社株式を公開買付けにより取得することといたしました。これにより、ソディックグループの競争力・収益力が強化され、更なるグループ力の向上がなされるものと確信しております。

なお、当第2四半期末の配当につきましては、1株につき5円の配当を実施させていただきます。今後も安定的かつ継続的な配当実現に向けて更なる成長を目指してまいります。

最後になりましたが、10月に発生したタイの洪水の被害状況についてご報告させていただきます。当社グループにおいては、Sodick (Thailand) Co., Ltd. が浸水の被害を被り、操業を停止しております。現在、早期再開に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。操業再開までの間は、福井、加賀、中国の蘇州および廈門の当社グループの各工場で代替生産を行い、当面の需要にお応えできる生産量を確保してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 藤原克英

### CONTENTS

Sodick Corporate Highlights	1
株主の皆様へ	2
当第2四半期(累計)の業績	3-4
特集1 タイの洪水被害と対策について	5
特集2 産業機械事業の強化	6

第2四半期(累計)連結財務諸表(要旨)	7-8
株式情報/株式分布/会社概要/役員	9
株主メモ	10

■当第2四半期(累計)の業績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により個人消費や生産活動の落ち込みが見られましたが、企業努力により被災工場やサプライチェーンは想定以上に早期復旧を果たしました。また、消費者の自粛ムードも徐々に緩和したこともあり、足元にかけて回復基調で推移いたしました。しかしながら、欧州の債務問題や米国の景気減速感、その影響により急速に進行した円高などが懸念材料となり、景気の先行きは不透明感が深まりました。

このような経営環境の下、当社グループは、高い成長性が見込まれるインド市場への事業展開を加速させるため、インド北部のデリーにショールームを開設いたしました。また、ドイツのハノーバーで開催された「EMO Hannover 2011」に出展し、CFRP(炭素繊維強化プラスチック)をテーブル構造体に採用した従来にないマシニング

センタ「TT1-400A」を紹介いたしました。「TT1-400A」は、スマートフォンなどの小物部品の加工効率を大きく高めることが可能であり、大きな需要が期待されます。今後も新市場の開拓を積極的に推進するとともに、新技術・新製品により新たな需要を喚起し、業績の安定と収益力の強化に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比41億76百万円増の295億円54百万円(前年同四半期比16.5%増)となりました。利益面では、営業利益は前年同四半期比13億38百万円増の38億26百万円(前年同四半期比53.8%増)、経常利益は前年同四半期比10億26百万円増の23億61百万円(前年同四半期比76.9%増)、四半期純利益は前年同四半期比3億80百万円増の17億52百万円(前年同四半期比27.8%増)となりました。

■連結業績ハイライト



■セグメント別概況

<p><b>工作機械事業 (日本)</b></p> <p>売上高構成比 <b>22.0%</b></p> <p>国内の設備の稼働状況は、震災によるダメージから回復途上でありましたが、円高など景気の先行き不透明感もあり、顧客の設備投資に対する慎重な姿勢は継続しています。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比3億68百万円増(6.0%増)の65億1百万円となりました。</p>	<p><b>工作機械事業 (北・南米)</b></p> <p>売上高構成比 <b>6.2%</b></p> <p>北米地区においては、自動車向け需要が好調に推移したことに加え、医療分野や航空宇宙分野などの先端分野向けにも底堅い需要が見られました。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比5億46百万円増(42.1%増)の18億43百万円となりました。</p>
<p><b>工作機械事業 (欧州)</b></p> <p>売上高構成比 <b>9.1%</b></p> <p>欧州地域では顧客の設備投資意欲は強かったものの、9月末に世界的な金属加工・工作機械の展示会であるEMO 2011を控えていたこともあり、設備投資には消極的な態度が見られました。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比8億1百万円増(42.2%増)の27億1百万円となりました。</p>	<p><b>工作機械事業 (中華圏)</b></p> <p>売上高構成比 <b>29.0%</b></p> <p>中華圏においては、中国の力強い経済成長に支えられ、家電から精密機器向けまで幅広い分野で力強い需要がみられました。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比36億76百万円増(75.0%増)の85億78百万円となりました。</p>
<p><b>工作機械事業 (その他アジア)</b></p> <p>売上高構成比 <b>5.4%</b></p> <p>当地域では自動車・二輪車向けや半導体関連向けの設備投資需要が好調を維持しており、順調に推移しました。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比2億60百万円増(19.4%増)の16億5百万円となりました。</p>	<p><b>産業機械事業</b></p> <p>売上高構成比 <b>15.0%</b></p> <p>精密射出成形機の販売においては、国内では震災の影響により生産活動が低迷したことや、海外では韓国や台湾での需要に一服感があったことなどから、軟調に推移しました。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比6億84百万円減(13.4%減)の44億36百万円となりました。</p>
<p><b>精密金型・精密成形事業</b></p> <p>売上高構成比 <b>4.5%</b></p> <p>当事業においては精密コネクタなどの精密成形品の製造を行っております。震災により主要な需要先であるハイブリッドカーの生産量が減少した影響を受けました。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比5億87百万円減(30.8%減)の13億20百万円となりました。</p>	<p><b>食品機械事業</b></p> <p>売上高構成比 <b>4.3%</b></p> <p>当事業は各種製麺機、麺製造プラントなどを中心に事業を展開しております。現在進行している大型案件の売上計上が当連結累計期間末になる予定のため、当第2四半期連結累計期間における売上は減少しております。上記の結果、当事業の売上高は前年同四半期比2億2百万円減(13.9%減)の12億59百万円となりました。</p>
<p><b>要素技術事業</b></p> <p>売上高構成比 <b>4.3%</b></p> <p>当事業は、液晶パネルの検査装置用XYステージの製造販売、大型ファインセラミックスの製造販売、モータの製造販売、金型生産統合システムの販売から構成されております。当事業の売上高は前年同四半期比20百万円増(1.7%増)の12億56百万円となりました。</p>	<p><b>その他の事業</b></p> <p>売上高構成比 <b>0.2%</b></p> <p>その他は、パンフレットなどの印刷物の製作事業や放電加工機、マシニングセンタ及び射出成形機などのリース事業から構成されております。その他の売上高は前年同四半期比21百万円減(29.3%減)の51百万円となりました。</p>

# タイの洪水被害と対策について

タイでは7月以来の記録的な豪雨により大規模な洪水が発生し、広範な地域に被害が発生いたしました。ソディックグループの放電加工機の製造工場であるタイ工場も浸水被害を被りました。ここではタイ工場の被災状況とその対策についてご説明申し上げます。

## タイ工場(パトゥムタニ県ナワナコン工業団地)の被害について

ソディックグループのタイ工場が所在するナワナコン工業団地は、10月17日から浸水が始まりました。10月18日にはソディックグループのタイ工場周辺の水位も上昇し、建屋、生産設備の一部が冠水するなど洪水の被害を受けました。現在(12月2日時点)においても、操業停止中ですが、早期再開に努めております。なお、幸いにも従業員に怪我などの人的被害はございませんでした。



## タイ工場操業停止中の対応について

タイ工場が操業停止中は、当面の需要量を確保するために、ソディックグループの各工場で放電加工機の代替生産を行い、ユーザー様、お取引先の皆様には極力ご迷惑をおかけしないよう努めてまいります。



株主の皆様には、ご心配をおかけして大変申し訳ございません。社是である「創造(So)、実行(di)、苦勞・克服(ck)」の精神を胸に刻み、グループ一丸となってこの困難を克服してまいりますので、株主の皆様には、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 産業機械事業の強化



産業機械事業では、高精度の射出成形機の開発・製造・販売を行っております。ソディックグループの射出成形機は、Vライン方式など独自の技術により、小型精密な樹脂パーツを安定して成形が可能であり、携帯電話や液晶テレビの製造分野で非常に高い評価を頂戴しております。ソディックグループは産業機械事業を強化し、収益力の強化に努めてまいります。

## 海外生産の促進

射出成形機の製造は、主に国内の加賀工場で行っておりますが、海外工場を活用し、海外生産比率を高めてまいります。海外での生産を進めることにより、原価率の低減や海外ユーザーのニーズに合った製品を素早くご提供できるようになります。

## 電動式射出成形機の投入

射出成形機の動力源に、油圧式と電動式の長所を兼ね備えたハイブリッド式を採用してはりましたが、ユーザーの声にお応えして電動式の射出成形機を開発いたしました。

# 収益力の強化



## グローバル販売網の活用

現在、射出成形機の販売網は、日本国内、韓国や台湾など東アジアを中心に展開しています。市場の更なる拡大を目指して、ソディックグループが放電加工機販売で築き上げた、アジアはもとより、米国や欧州にいたるまでグローバルに展開した販売網を活用してまいります。

Point

流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比79億56百万円増の595億22百万円となりました。震災後の不透明感強まる経営環境に対応できるよう、手持ちの現金を多めに準備したため、現金及び預金が85億82百万円増加いたしました。

固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比1億76百万円減の277億68百万円となりました。消耗品事業を強化するため、放電加工機の消耗品であるワイヤ電極線の製造設備への投資を行い、有形固定資産が2億83百万円増加しました。一方、長期貸付金が、回収の進行や流動資産に振替えられたことにより4億12百万円減少しております。

負債の部

負債は、前連結会計年度末比68億32百万円増の581億84百万円となりました。震災によるサプライチェーンの混乱や円高の進行など経営環境は急変しており、不測の事態への対応として手持ちの現金を増加させたため、短期借入金が54億26百万円、長期借入金が13億32百万円増加したことが主な増加の要因です。

四半期連結貸借対照表

科目	期別	前連結会計年度 平成23年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 平成23年9月30日現在
	<b>資産の部</b>		
流動資産		51,566	59,522
固定資産		27,944	27,768
有形固定資産		21,829	22,112
無形固定資産		2,567	2,543
投資その他の資産		3,547	3,112
<b>資産合計</b>		<b>79,510</b>	<b>87,290</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債		32,457	37,883
固定負債		18,894	20,301
<b>負債合計</b>		<b>51,352</b>	<b>58,184</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本		28,701	30,133
資本金		20,775	20,775
資本剰余金		5,879	5,879
利益剰余金		4,181	5,614
自己株式		△ 2,135	△ 2,135
その他の包括利益累計額合計		△ 2,249	△ 2,667
新株予約権		23	23
少数株主持分		1,682	1,616
<b>純資産合計</b>		<b>28,158</b>	<b>29,106</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>79,510</b>	<b>87,290</b>

四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
		売上高	25,377
売上総利益	8,156	9,940	
営業利益	2,488	3,826	
経常利益	1,334	2,361	
税金等調整前四半期純利益	1,144	2,351	
四半期純利益	1,372	1,752	
四半期包括利益	985	1,331	

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
		営業活動によるキャッシュ・フロー	1,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 72	△ 1,580	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 872	5,900	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 390	△ 357	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	276	7,868	
現金及び現金同等物の期首残高	15,804	16,615	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	189	—	
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,270	24,483	

Point

営業利益

営業利益は、前年同期比13億38百万円増の38億26百万円となりました。中華圏や欧州で売上が好調に推移したことにより売上総利益が17億84百万円増加したことが主な要因です。

四半期純利益

四半期純利益は、前年同期比3億80百万円増の17億52百万円となりました。営業利益が増加した一方で、当期は税金等調整前四半期純利益の増加により法人税及び住民税が増加しているとともに、円高の進行など景気の先行き不透明感が増していることから繰延税金資産を取り崩したこと等により、法人税等が9億16百万円増加しております。

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比22億95百万円増の39億6百万円となりました。税金等調整前四半期純利益が増加したことが主な要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比15億8百万円減の△15億80百万円となりました。ワイヤ電極線の製造設備の取得等による有形固定資産の増加と、借入金の増加による預金の増加の一部を定期預金に預け入れたことが主な減少の要因です。財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比67億73百万円増の59億円となりました。短期借入金の増加60億39百万円が主な要因です。

## 株式情報 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,432,510株
株主数	16,313人

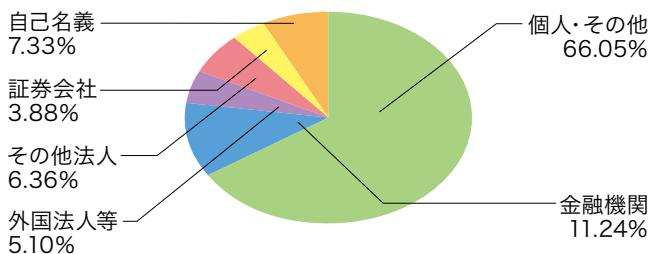
## 大株主 (平成23年9月30日現在)

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	3,921,330	7.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,280,400	2.39
古川 利彦	1,195,975	2.23
有限会社ティ・エフ	1,150,000	2.15
ソディック共栄持株会	966,100	1.80
大村 日出雄	855,400	1.60
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	738,200	1.38
鈴木 正昭	726,260	1.35
株式会社北陸銀行	700,000	1.31

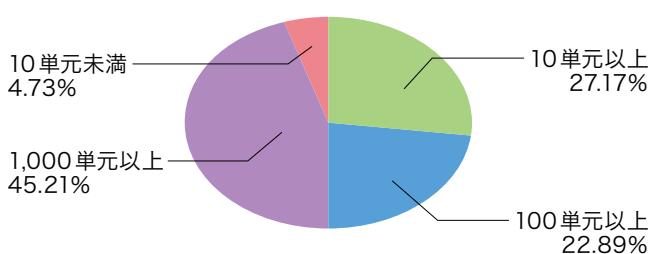
## 会社概要 (平成23年9月30日現在)

会社名	株式会社ソディック
所在地	本社 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 〒224-8522 TEL:045-942-3111(代表)
設立	昭和51年8月3日
資本金	207億7,575万6,958円
代表者	藤原 克英
従業員数	275人(連結2,795人)
連結子会社	28社
営業品目	形彫り放電加工機/ワイヤ放電加工機/細穴放電加工機/特殊放電加工機及び専用機(パレットチェンジャ、ロボットなど)/数値制御電源装置/放電加工機専用治具/ハイスピードミーリングセンタ/ナノ加工機/生産統合システム/精密射出成形機/工業用セラミック/産業機械向けリニアモータ/その他電気加工装置/放電加工機用ワイヤ電極線/精密金型・精密成形品/電子部材/各種ソフトウェア/食品機械/LED応用製品/委託研究及び製品開発/その他

## 所有者別株式分布状況 (平成23年9月30日現在)



## 所有株式数別株式分布状況 (平成23年9月30日現在)



## 役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役会長	古川 利彦
代表取締役社長	藤原 克英
取締役副社長	保坂 昭夫
専務取締役(営業統括担当)	高木 圭介
専務取締役(商品技術担当)	金子 雄二
常務取締役(営業本部長)	松井 孝
常務取締役(カスタマーエンジニアリング本部長)	唐戸 幸作
常務取締役(総合企画本部長)	古川 健一
取締役(欧米地区営業担当)	久保 光宏
取締役(生産本部長)	岡崎 秀二
取締役(国内営業統括部長)	島田 幸徳
取締役(研究開発本部長)	原田 武則
取締役	鈴木 正昭
常勤監査役	楠 左衛治
監査役(非常勤)	小山 秋吉
監査役(非常勤)	大木 國男
監査役(非常勤)	下山 和人

※監査役のうち、小山秋吉、大木國男及び下山和人は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	6143
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sodick.co.jp/ir-f.html">http://www.sodick.co.jp/ir-f.html</a> ※ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

### 【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が特別口座管理機関となっておりますので、下記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 【株式に関するお手続きについて】

### ○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
○住所・氏名等のご変更 ○配当金の受領方法の指定 ○その他のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

### ○特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)

(\*) 特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

## 単元未満株式の 買増・買取制度について

株主様のご所有株式のうち、1単元(100株)未満の株式につきましては、証券市場で売買することはできませんが、次のいずれかの制度をご利用いただくことが可能です。

### 1. 単元未満株式買増制度

ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく制度です。

### 2. 単元未満株式買取制度

ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度です。